

小児鍼（しょうにしん）について

◆小児鍼とは？

主に大阪地方で発達した子どものためのはりで、大正時代以降次第に普及するようになったもの。

生後 1 ヶ月から 12 歳に適用できる治療で、大人の鍼治療とは異なり、小児鍼は体にはりを刺すことはありません。なので痛いものではなく、マッサージに近いです。専用の鍼で皮膚の表面をやさしくさすることで精神的にリラックスさせ、脳ストレスを解消することで健やかな発育を促し、元気で健康な体を作るための全身治療です。

主に小児の治療に使うものです。

写真中央部の細い棒状の鍳鍼（ていしん）

での治療が主になってきています。



◆小児鍼の適応症

主にこんな症状に効果がありますが、心身の調和を図り、治癒力を高めることが目的となります。

- ・夜泣き・おねしょ・食欲がない・下痢・便秘・風邪症状、疳の虫
- ・アレルギー疾患（アトピー、小児喘息、鼻炎、花粉症、小児湿疹など）